

あなたと博物館

松本市立博物館ニュース No.202 2016.1.1

松本平の冬の風物詩

～三九郎、道祖神祭り、オンベ、あめ市、コトヨウカ～



オンベ(梓川横沢)



コトヨウカ(今井下新田)



あめ市



謹賀新年

本年も博物館を
よろしくお願いいたします



三九郎(島立小柴)



道祖神祭り(島立町区)

平成 28 年—丙申年の初春、松本市域では一年の無病息災や商売繁盛を祈る多彩な行事がおこなわれます。

もくじ

誌上博物館 ◇ 写真展 写真でたどる裁判所の軌跡展……………2-3

ガイドコーナー ◇ はんてんぼく……………4

1月3日は市立博物館へ行こう!

【開館時間】午前10時～午後3時

松本市立博物館を無料開館します。当日は博物館友の会による風水だるまなどの縁起物や七福神と干支ピンバッジの販売を行います。

美しく生きる。
健康寿命延伸都市・松本

写真展 写真でたどる裁判所の軌跡展

1 はじめに

松本市歴史の里には、明治41年（1908）に建造された旧長野地方裁判所松本支部庁舎が移築されています。当館では、この裁判所庁舎の過去から現在までの姿と、近代司法制度が成立した明治時代の松本の姿について写真でたどる展示を行います。

2 松本にできた裁判所



明治11年に建てられた松本裁判所

「行く届く 庭の掃除や桐の花」。これは、明治11年に松本裁判所が松本城二の丸跡に建てられた際に、松本新聞に掲載された俳句です。当館に移築されている建物の前身となった松本裁判所庁舎は、旧開智学校を建てたことで知られる立石清重が建築に携わりました。当時の松本裁判所は、長野県全域を統括する裁判所として位置づけられており、司法の力が県下全域に行き渡る様子を、庭掃除と桐に例えて詠んでいると思われます。

松本裁判所が建てられる前は、筑摩県庁の聴訴課が警察・司法事務を担当していましたが、近代的な司法制度の導入が進められていく中で、行政と司法の分離がされ、明治8年に各府県に独立した裁判所を設ける太政官布告が出されました。その翌年に筑摩県庁が焼失し、六九町開産社内を臨時庁舎として松本裁判所が置かれました。明治11年に新庁舎へ移転した後は、幾度の司法制度改革が行われ、松本始審裁判所、松本治安裁判所に名称が変わり、明治16年には、長野始審軽罪裁判所の支庁に位置づけられ、裁判の中心が松本から長野に移りました。

3 和洋折衷の新庁舎



明治41年旧松本裁判所（百瀬藤雄撮影）

松本始審裁判所と松本治安裁判所は、明治23年に裁判所構成法が施行されると、始審裁判所は地方裁判所に、治安裁判所は区裁判所に改められ、長野地方裁判所松本支部、松本区裁判所となりました。しかし、この頃から裁判所庁舎が手狭になり始めたため、明治40年7月に新庁舎の建設が始まりました。

西洋化を推し進めた明治時代の官庁建築は、西洋の技術を積極的に取り入れ、主要



ネオバロック様式の裁判所 大審院・東京控訴院東京地方裁判所
（『司法省及裁判所廳舎寫眞帖』より）

都市では屋根上に小屋を設け、アーチを連続させるネオバロック様式の流れを取り入れたものが造られました。一方、地方都市では、和風や和洋折衷様式の建物が多く造られました。こうした庁舎の設計は、司法省の技師が設計を担当していたと考えられ、同じような外観をした建物が各地で見られます。しかし、豪雪地帯では、雪よけを



南国風の裁判所 大島区裁判所 / 鹿児島県
（『司法省及裁判所廳舎寫眞帖』より）

意識した雁木造といわれる屋根、温暖な地方では涼しげなデザインを取り入れるなど、地方色豊かな裁判所が建てられました。

長野地方裁判所松本支部庁舎は、明治41年に竣工し、土浦区裁判所（明治38年）や米子区裁



類似の裁判所
上：土浦区裁判所 / 茨城県 下：米子区裁判所 / 鳥取県
（『司法省及裁判所廳舎寫真帖』より）

あったことが分かります。

4 市民に守られた裁判所

昭和 22 年 (1947) に日本国憲法が施行されると、旧来の裁判所構成法などが廃止され、翌年新しい裁判制度に基づいた長野地方裁判所松本支部、松本簡易裁判所（松本区裁判所は廃止）が設置されました。しかし、昭和 40 年頃になると、施設の老朽化や松本城の史跡整備による裁判所移築の議論が起こり、昭和 50 年に当時の市営プールと武道館のあった場所に移築先が決まり、昭和 52 年に新築移転されました。これに伴い庁舎は、取り壊されることとなりましたが、昭和 53 年に「文化財を守る市民の会」が結成され、保存運動が起こりました。同会は、文化庁への陳情や市中行進を行って現地保存を訴えましたが、撤去方針が覆ることはなかったため、同会幹部会の総意により



保存運動の様子（裁判所前に集まった市民）

判所（大正 2 年）とよく似たデザインをしています。こうした和風入母屋屋根を基調に、中央に車寄せ、屋根上部に通気口を設ける形式の裁判所は、全国各地に建てられていました。現在当館に残っている庁舎は、当時としては一般的な裁判所建築で

移転保存することに決まりました。庁舎は、昭和 53 年 8 月に解体され、昭和 57 年 3 月に移転工事が竣工し、財団法人日本司法博物館として開館しました。庁舎の移築費用は 3 分の 2 が市民による寄付金によって賄われており、市民の力によって守られたことが分かります。前述のとおり旧長野地方裁判所松本支部庁舎は、裁判所建築としては珍しいものではありませんが、全国の類似する建物の多くは、取り壊されるか改修されるなどにより、一部が残されるのみとなっています。そのため、当時の地方都市の裁判所建築を知るうえで文化財的価値の高い建物となっています。

5 博物館として

旧長野地方裁判所松本支部庁舎は、平成 14 年から松本市の管理となり、松本市立博物館の附属施設（現在は分館）「松本市歴史の里」として新たな一歩を踏み出しました。

建物は、明治時代の裁判所の内装に復元し、明治憲法下の裁判所の雰囲気を楽しんでいただけるようになっており、長野県弁護士会主催の模擬裁判の会場や、司法修習生が毎年見学に来るなど教育の場としても利用されています。

しかし、明治時代に松本市街地に建てられた建物であるため、現在の水田に囲まれた立地では、風雨による影響が激しく、建築部材の劣化が著しく進んでいます。博物館として教育の場を提供するだけでなく、市民が守った文化財を後世にいかにして残すかが課題となっています。そこで、当館では建築講座を昨年度から開催し、当館に移築されている文化財建築の魅力を建築士の方達に紹介していただいています。多くの人たちに文化財を知ってもらい、関心を持っていただく機会を設けることが、文化財保存の第一歩だと考えています。

今回の展示では、裁判所の歴史だけでなく、それを残そうとした先人の活躍や、建築講座の成果、文化財修理工事の様子も合わせ、写真で紹介します。

（松本市歴史の里 学芸員 / 宮井博樹）

写真展 写真でたどる裁判所の軌跡展

【会 期】1 月 23 日（土）～ 3 月 21 日（月）祝

【会 場】松本市歴史の里

松本市立博物館から

☎0263-32-0133

年中行事シリーズ「まゆ玉サービス」

小正月の火祭り・三九郎で焼いて食べる「まゆ玉」と呼ばれる米粉で作った団子と柳の枝を来館者に提供します。

日 時 1月14日(木) 午前10時～なくなり次第終了
会 場 松本市立博物館
料 金 通常観覧料



まゆ玉

クボタウツボー歌は我が心

窪田空穂記念館は、施設改修工事により、冬季休館となっています。そこで、歌人窪田空穂をより多くの方に知っていただくため、市立博物館にて出張展示をします。

会 期 1月16日(土)～2月14日(日)
会 場 松本市立博物館2階 特別展示室
料 金 通常観覧料
問 合 せ 松本市立博物館へ



窪田空穂

松本民芸館から

☎0263-33-1569

企画展「雑器の美 日本のやきもの」

日々の暮らしの中で時には手にし、また口元にふれるやきもの。その感触の心地よさが私たちの心を癒し、美しさが感動を与えてくれます。そんな作品を多数展示します。

会 期 1月26日(火)～4月17日(日)
会 場 松本民芸館
料 金 通常観覧料



染谷焼壺 (長野県)

体験講座「楽しい! やしろうま作り」

「やしろうま」は釈迦の命日の供え物で、米粉を蒸し、絵柄をつけて作る美しい食べ物です。

日 時 2月7日(日) 午後1時～3時
会 場 下金井公民館
料 金 500円 (材料費)
対 象 小学生以上 (低学年は要付添い)
定 員 15人
講 師 横山律子氏 / 郷土料理研究家
持 ち 物 タオル、エプロン、マスク
申 込 み 電話で松本民芸館へ



やしろうま

はかり資料館から

☎0263-36-1191

企画展「中町今昔物語」

中町は、松本の商業の中心地のひとつであり、先人達の努力により現在でも土蔵造りの建物が大切に残されています。本展では、中町の明治以降の変遷を写真パネルで紹介いたします。

会 期 1月9日(土)～2月7日(日)
会 場 はかり資料館
料 金 通常観覧料

※「あめ市」に合わせて、1月10日は無料開館です。歩行者天国の当日は、だるまの露店販売を行います。

窪田空穂記念館から

☎0263-48-3440

窪田空穂生家百人一首教室

百人一首は、お正月の遊びです。みんなで楽しく遊びながら学びましょう。

日 時 1月9日(土) 午後1時～3時
会 場 窪田空穂生家
料 金 無料
対 象 中学生以下のお子さんと保護者
講 師 駒井千枝子氏/学習塾講師
申 込 み 電話で窪田空穂記念館へ



百人一首

考古博物館から

☎0263-86-4710

八十二銀行ウインドーギャラリー展「縄文人の美術力」

独創的で精緻な模様を施した縄文土器や土製耳飾の写真を、八十二銀行松本営業部のウインドーギャラリーに展示します。現代の私たちにはまねできない、縄文人の優れた「美術力」をぜひご覧ください。

会 期 1月8日(金)～29日(金)
会 場 八十二銀行松本営業部
ウインドーギャラリー
料 金 無料



縄文土器
(南中島遺跡出土)

速報展「発掘された松本 2015」

2015年中に松本市内で実施した発掘調査等について、出土品や写真を展示し、その成果をいち早くご紹介します。

会 期 2月6日(土)～21日(日)
会 場 時計博物館3階 企画展示室
料 金 時計博物館の通常観覧料

関連事業「発掘された松本 2015 ～松本市遺跡発掘報告会～」

日 時 2月6日(土) 午後1時～4時
会 場 時計博物館4階 本町ホール
料 金 無料
問 合 せ 文化財課埋蔵文化財担当(TEL0263-85-7064)へ

時計博物館から

☎0263-36-0969

平成28年 あめ市歴史展示「戦後あめ市の軌跡」

城下町松本の新春をいどる祭典である「あめ市」は、古来より様々な形を変えながら伝統行事として続いてきました。本展では、戦後あめ市の変遷を、写真パネルを用いて分かりやすく解説します。

会 期 1月5日(火)～31日(日)
会 場 時計博物館3階 企画展示室
料 金 無料 (ただし、2階常設展は有料)



左から1971年、1995年、2010年の様子

あとがき

歴史の里に移築された建物には暖房がないため、よくお客様から「寒いね」と言われます。しかし、先日ある年配の方が「冬は寒いもんだ、昔の人はそれに風情を感じていたんだ」と言っていたのを聞き、そういう考え方もあるのかと驚きました。隙間風の吹く江戸時代や明治時代の建物に居ると、冬を近くに感じ、昔の人のたくましが伝わってきます。(H.M)

あなたと博物館 No.202

発行年月日/平成28年1月1日
編集・発行/松本市立博物館
〒390-0873 松本市丸の内4番1号 Tel.0263-32-0133
URL: <http://www.matsu-haku.com>
e-mail: mcmuse@city.matsumoto.nagano.jp



印刷 川越印刷株式会社